

OUTLINE of Shizuoka University Library

静岡大学附属図書館概要



(本館)



(浜松分館)

2015

静岡大学附属図書館概要 2015

目次

図書館長挨拶	1
静大図書館のいま（平成26年度活動状況）	2
館内案内	4
1. 平面図	
2. 主要室面積及び座席数	
情報システム	8
1. 情報システムの概要	
2. 電子資料等	
主要コレクション	10
1. 大型コレクション	
2. 特殊コレクション	
3. その他の主要コレクション	
資料統計	12
1. 受入数	
2. 蔵書数	
3. 視聴覚資料数	
4. 分類別蔵書冊数	
5. 図書館経費	
学術リポジトリ	13
1. 資源タイプ別コンテンツ数	
2. ダウンロード件数	
利用統計	14
1. 開館日数等	
2. 入館者数	
3. 館外貸出冊数	
4. ILL文献複写件数	
5. ILL現物貸借冊数	
6. セミナー参加人数	
刊行物等	16
1. 冊子体目録	
2. 定期刊行物・その他	
組織機構	17
1. 機構図・職員配置	
2. 附属図書館委員会委員	
沿革	18
1. 略年史	
2. 歴代館長・分館長	
交通案内／図書館位置図	22
浜松分館長挨拶	24

はじめに

附属図書館長
澤田 均



『静岡大学附属図書館概要2015』をお届けします。

この『図書館概要』は、附属図書館の現状をコンパクトにまとめたものです。図書館員による自己評価に活用するとともに、学外の皆様による外部評価に資するため、ここに公表するしだいです。ぜひご覧いただき、ご評価を頂戴できましたら幸いです。

附属図書館は、静岡大学の使命を支える学術情報基盤として、「Tolle lege（手に取って読みなさい）」の精神のもと、学術情報資源整備、学習支援、研究支援、社会連携に努めることを、その使命としています。この使命を達成するために、多種多様な事業を計画し、実施してきました。例えば、学習支援では、静岡本館および浜松分館のリニューアル、新入生への「図書館利用セミナー」、データベース利用説明会、学習相談「チューターズフロント」、大学教育センターとの協働授業などです。2014年度にこれまでの学習環境の整備に関する取組みを検証し、改善策を策定いたしました。本年度は、この策定された改善策をしっかりと推進しているところです。

附属図書館浜松分館では、Students' PORT構想のもとに大規模改修を終え、2014年10月にリニューアルオープンしました。そのコンセプトは「学生たちの〈港〉」です。活気ある〈港〉のように、学生たちが新たな知識や人と出会い、大いに成長するようにと願い、プレゼンルームやグループワークエリアを新設し、グループ学習や協同作業ができるように整備しました。

この浜松分館の改修にあわせて、その機能充実のため、静岡大学未来創生基金に「附属図書館浜松分館整備特定基金」を設け、2013年11月より2015年3月末まで学内外の皆様に資金面のご助力をお願い申しあげました。趣旨にご賛同いただいた多くの皆様から、ご寄附を賜りました。心よりお礼申し上げます。ご寄附いただいた寄附金は、整備が不十分なエリアの書架、机・椅子、展示ケース等の購入に活用させていただく予定です。今後とも、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

平成27年 7月

静岡大学附属図書館のいま

■ 附属図書館の使命を策定しました

静岡大学附属

静岡大学附属図書館は、静岡大学の使命を支える学術情報基盤として、「Tolle lege（手に取って読みなさい）」

学術情報基盤整備

大学改革、教育・学習・研究のニーズに合った資料を選定し、収集・整理・保存・提供します。蔵書や電子リソース等の利用促進および蔵書スペースの有効利用に努めます。

部局長・評議員の先生方を委員とした電子リソース検討委員会を設置し、電子ジャーナル・データベースの整備について検討を進めました。4月には全学の教員を対象にアンケート調査を実施しました。

附属図書館利用学生モニターの本館12名、分館8名の学生と、緑のカーテンの設置、本屋さんに出向いての選書、選書した本の推薦文を添えた展示、七夕笹飾り（分館のみ）等、学生視点の改善を含めた学生参加型活動を行いました。

学習支援

学生の能動的学習を含めた学習全般を支援するため、館内の学習環境の整備に努めるとともに、学内教員・組織、他大学図書館と協力して情報リテラシー教育を推進します。

図書館利用セミナー（授業単元）85回を含むセミナー等を99回実施し、3,140名が参加しました。学生の要望からCiNii講習会を試行しました。

大学教育センターの学習サポート（チューターズフロント）が本館、分館にて通算43日、開設されました。また、本事業協力を含めた、附属図書館と大学教育センターとの連携協力に関する申し合せを12月に締結しました。



緑のカーテン



七夕笹飾りの様子



選書の様子



選書した本の展示



チューターズフロントポスター

■ 浜松分館がリニューアルオープンしました



「附属図書館分館・学生支援棟（愛称S-Port）」は、Students' PORT構想のもと、平成26年10月1日にオープンしました。浜松分館の書庫および隣接の浜松キャンパス事務棟を解体して新しい建物を建設したもので、快適な学習空間と学生へのワンストップサービスを構築します。人や物が行きかう「港」のように、新たな知識や人との交流が生まれる活気あふれる場所をめざします。



1F：ギャラリー

さまざまな活動成果を展示・公開できます



1F：書庫

1階と2階に図書を35万冊収納できる予定です



2F：多文化交流エリア

畳を利用したイベント等も開催できます



2F：Graduates' Hub

大学院生の論文執筆やディスカッションを支援します

(平成26年度活動状況)

図書館の使命

の精神のもと、積極的に機能することを目指します。

研究支援

本学学術リポジトリを充実させ、学内研究者の研究成果を保存するとともに世界に発信します。また、研究に必要な文献や情報の提供に努めます。

リポジトリへの登録を推進し、本学紀要論文・学位論文に国際標準の論文識別番号DOIを付与しました。また、リポジトリのホームページに登録フォームを設置し文献を登録しやすくしました。収録文献は7,196件となりました。



静岡大学学術リポジトリのホームページ



チューターズフロントの様子

社会連携

地域社会との交流や国内外の組織との協力を積極的に進め、知の交流点として社会に貢献します。図書館の活動を社会に発信します。

浜松テクノフェスタで分館モニターが菜作りを開催し、地域の方が多く参加しました。



菜作りの様子

地域の小学5-6年生を対象に本学地域連携プロジェクト「キッズチャレンジ静大図書館」を本館で2回、分館で1回、実施しました。定員を超える55名の参加があり、保護者からも大好評でした。



キッズチャレンジ静大図書館の様子



2F: グループワークエリア
グループ学習・発表のための設備を用意しています



2F: セミナールーム・CALL教室
ノートPC52台、プロジェクタ、ビデオカメラを備えています

オープニングセレモニーの開催

リニューアルオープン前日の9月30日に、S-Port落成記念式典及び内覧会を挙行了しました。学内外から約160名の方に参加いただきました。



テープカットを行う関係者

浜松分館整備特定基金の設置

浜松分館の整備拡充を図ることを目的に、平成25年11月～平成27年3月末の期間、静岡大学未来創成基金の下に、浜松分館整備特定基金を設置しました。多くの皆様からご寄附を賜りましたこと、心より感謝いたします。



館内案内

1. 平面図

◆ 本館

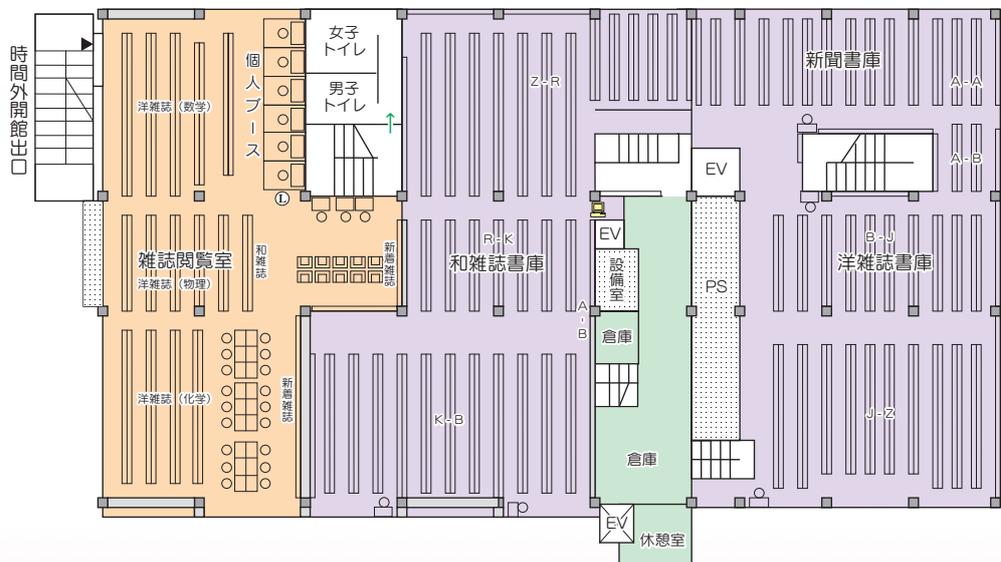
1 階



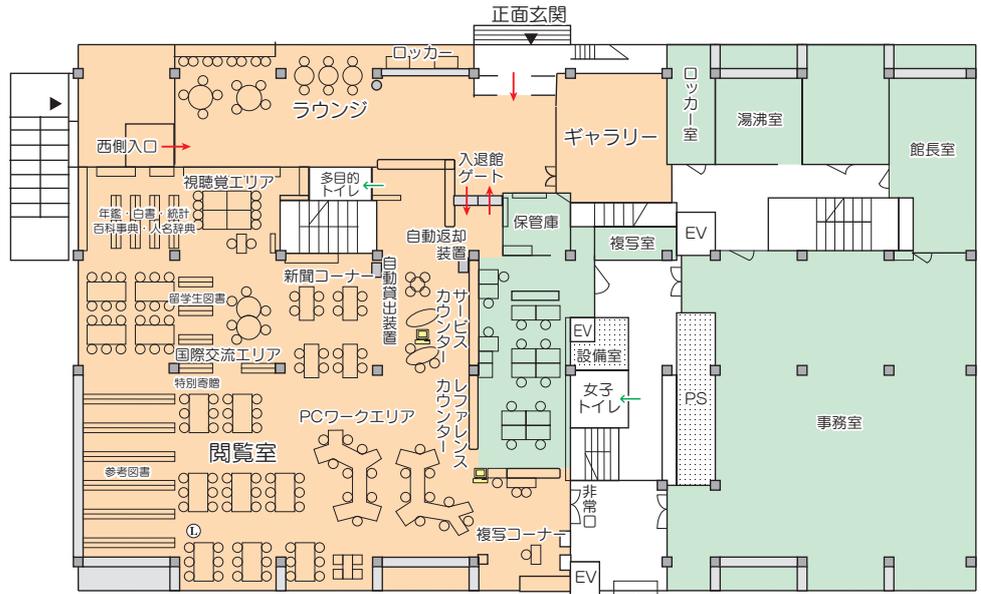
2 階



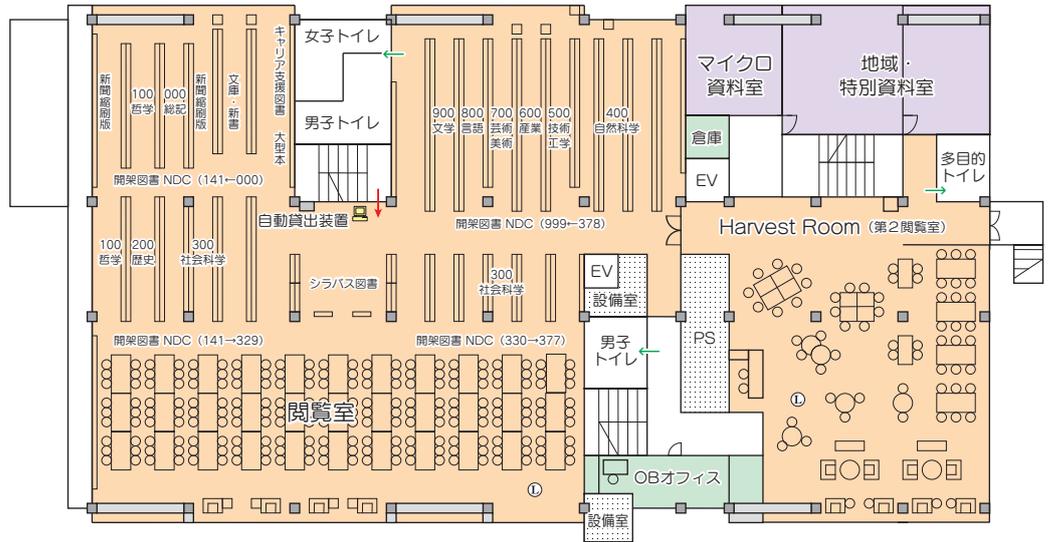
3 階



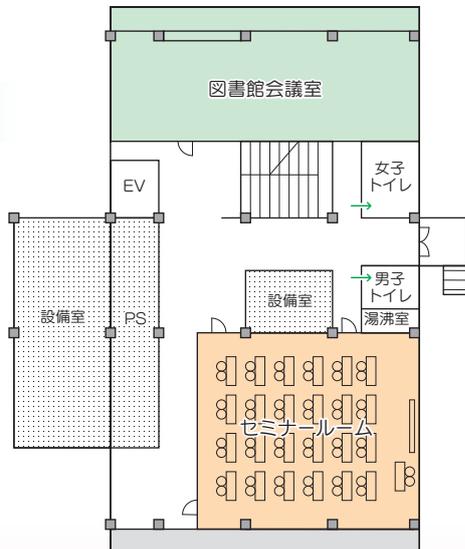
4階



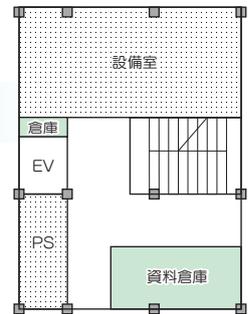
5階



6階



7階



書庫エリア	検索用パソコン
閲覧エリア	情報コンセント
事務エリア	

◆ 浜松分館

1 階



2 階



3 階

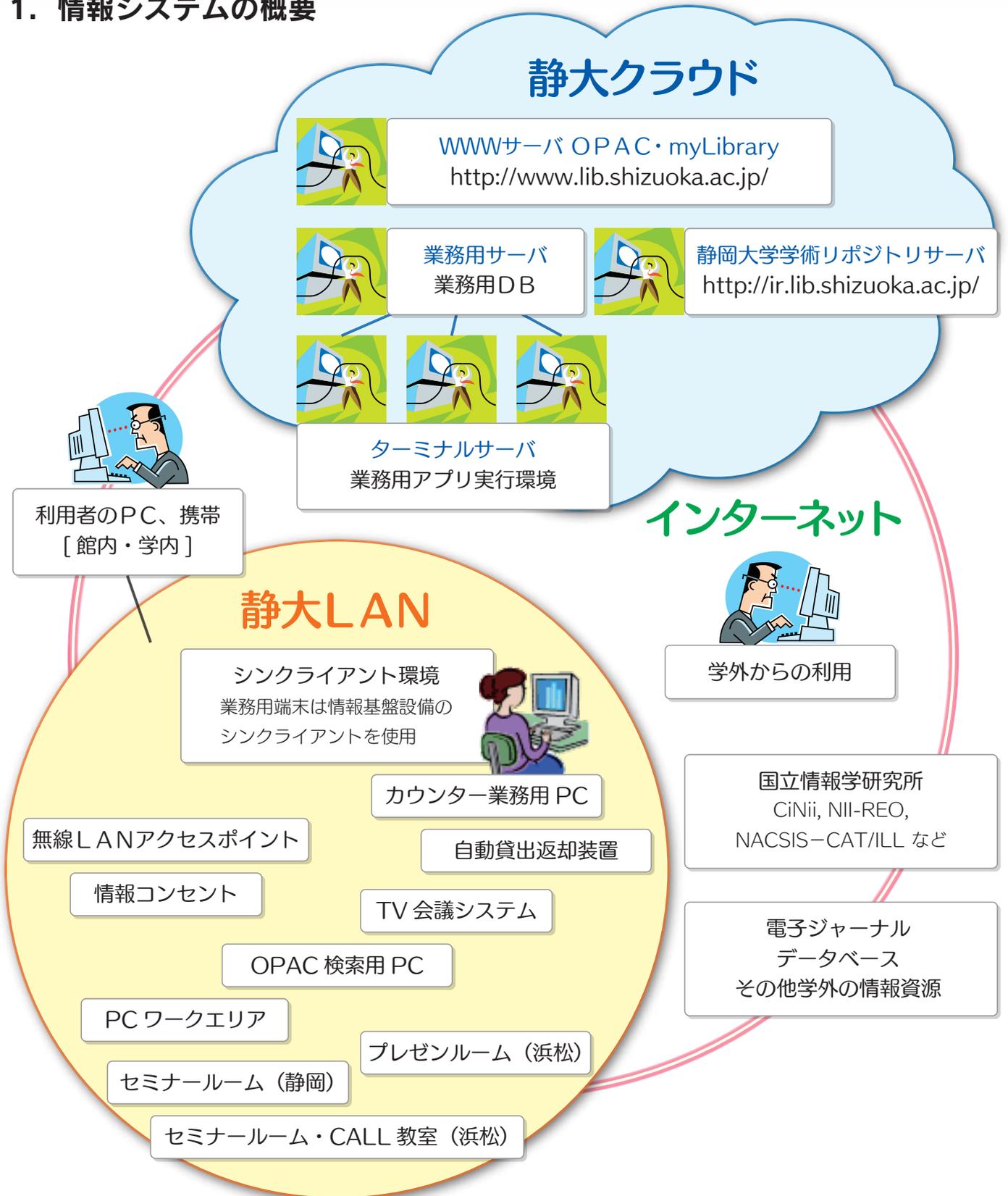
2. 主要室面積及び座席数

	階数	室名	面積	座席数	備考	
本館	1階 1,380㎡	書庫 その他	1,054㎡ 326	2席	一部集密書架	
	2階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3		
	3階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース 印刷室等 その他	839 334 24 57 241	6 28 6	無人入退館システム	
	4階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 サービスカウンター ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 49 382 312	126 22 20	参考図書、新聞コーナー、PCワークエリア、視聴覚エリア、国際交流エリア	
	5階 1,503㎡	開架閲覧室 Harvest Room (第2閲覧室) 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 68 1 2	開架図書	
	6階 563㎡	図書館会議室 セミナールーム その他	119 125 319	48		
	7階 248㎡	書類庫等 その他	43 205			
	本館合計		8,027㎡	534席	書架延長 27,130m 収容可能冊数 753,625冊	
	浜松分館	旧館1階 1,040㎡	開架閲覧室 新聞閲覧室 PCワークエリア その他	691㎡ 60 95 194	86席 7 22	閲覧室、開架図書、開架雑誌
		旧館2階 1,135㎡	開架閲覧室 プレゼンルーム その他	832 95 208	172 28	閲覧室、開架図書、参考図書、開架雑誌
S-Port 1階 830㎡		エントランス・ラウンジ ギャラリー 開架閲覧スペース 開架書庫 分館長室 図書館事務室 その他	164 54 102 258 18 107 127		集密書架	
S-Port 2階 1,575㎡		グループワークエリア セミナールーム・CALL教室 開架書庫 その他	958 145 354 118	202 52	パーソナルワークエリア、地域産業史エリア、多文化交流エリア、視聴覚エリア、Graduates' Hub * 書架未設置	
S-Port 3階 123㎡		交流サロン その他	83 40	6		
浜松分館合計			4,703㎡	575席	書架延長 9,086m 収容可能冊数 252,400冊	
合計			12,730㎡	1,109席	書架延長 36,216m 収容可能冊数 1,006,025冊	



情報システム

1. 情報システムの概要



利用者用端末	本館	浜松分館	計
利用者PC	19台	66台	85台
利用者用シンクライアント	69台	35台	104台
OPAC検索端末	14台	7台	21台

2. 電子資料等

○電子ジャーナル

- Science Direct(エルゼビア社) ※フリーダムコレクション契約
利用タイトル数 2,347 (バックファイルは概ね1998年から利用可能)
- Wiley Online Linbrary (ワイリー・ブラックウェル社)
利用タイトル数 1,413 (バックファイルは概ね1997年から利用可能)
- Springer Link (シュプリンガー社)
利用タイトル数 1,762 (バックファイル契約誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能)
- American Chemical Society Full Package (アメリカ化学会)
利用タイトル数 48
- Nature (本誌、Nature Digest含む) 1987年～
- Science 1880年～
- JSTOR Arts & Sciences I Archive Collection (経済学、歴史学、政治学、社会学、言語学、教育学など
人文社会科学系のほか、環境学、数学、統計学 計176誌のアーカイブ)

○電子ブック

- Cambridge Books Online (購入タイトル153件)
- EBSCO eBooks (購入タイトルと著作権フリータイトル計3,585件)
- Emerald eBook Series (購入タイトル91件)
- ScienceDirect (購入タイトル74件)
* この他に購読モデルのMethods in Enzymology (82件) がある
- Springer Link eBooks (購入タイトル7,107件)
- Wiley Online Books (購入タイトル28件)

○データベース (ネットワーク)

- CiNii (論文や図書・雑誌などの学術情報検索データベース)
- Web of Science (全分野における主要な学術雑誌の論文情報・引用関係データベース)
- Journal Citation Reports (主要学術雑誌評価データベース)
- MathSciNet (数学関係文献データベース)
- SciFinder (化学関係文献データベース)
- PsycINFO (心理学関係文献データベース)
- LexisNexis at lexis.com (国外法律情報文献データベース)
- Lexis AS ONE (日本法および関係文献データベース)
- TKC ローライブラリー・ロースクール (国内判例関係文献データベース)
- LLI統合型法律情報システム <法科大学院・人文社会科学部および図書館のみ>
- BOOKPLUS (図書情報検索データベース)
- MAGAZINEPLUS (雑誌論文・記事検索データベース)
- 聞蔵II ビジュアル (朝日新聞記事データベース)
- ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)
- 毎索 (毎日新聞記事データベース)
- 静岡新聞データベース plus 日経テレコン (静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース)
- ジャパンナレッジLib (「日本大百科全書」ほかのネット版)
- ブリタニカ・オンライン・ジャパン (Global Reference Center含む)(ブリタニカの百科事典データベース)
- Oxford English Dictionary Online
- Kenkyusha Online Dictionary
- 日経BP記事検索データベース
- 理科年表プレミアム
- 化学書資料館 (日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース)
- JSA Library Server (JISの電子版) <浜松キャンパスのみ>



主要コレクション

1. 大型コレクション

文庫名	内容	設置年
◆国際連盟刊行物資料	第一次大戦後設立された、国際連盟は国連の前身をさすもので、本館所蔵文書数は3,571点あり、公式記録、経済、金融、社会、法、委任統治、奴隷取締、政治、運輸交通、軍縮、財政、麻薬取締、文化協力、連盟事務局、一般、レファレンスの16部門に分類され、特に連盟総会の公式記録がほぼ揃っている。政治、経済、社会、教育等の戦間期研究にとって、この資料は不可欠であるとともにこれらの文書は、国立国会図書館が所蔵する連盟資料と相互補完をなしており、貴重な資料である。	昭和54年度
◆原家旧蔵江戸後期 芸文資料	静岡県駿東郡大平村（現沼津市）の旧家、原家に代々伝来された資料を購入したものである。 この資料は江戸後期を中心に明治期にまで及ぶ全451点1,281冊からなり、俳諧書を中心に、歌書、戯作類、絵画、地誌、仏教書、国学関係書、そして自然科学書をも含む、広い範囲にわたる貴重なコレクションである。日本文学、日本歴史の研究者をはじめ、多方面の研究者の利用が期待される。冊子目録「原家旧蔵江戸後期芸文資料目録」を作成。	昭和61年度
◆近現代ドイツ 資料コレクション	1-1. Statistik des Deutschen Reichs (Neue Folge), Bd.I-601, 1884-1944. 1-2. Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, Bd.I-70, 1890-1983. 1-3. Preußische Jahrbucher, Bd.I-240, 1858-1935. 2-1. Acta Borussica:Denkmaler der preußischen Staatsverwaltung im 18.Jahrhundert, 1892-1936 2-2. Jahresberichte der Gewerbe- Aufsichtsbeamten und Bergbehorden, 1876-1937/38. 2-3. Preußische Statistik, Bd.I-305, 1861-1933. 2-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Alte Folge),Bd.I-188, 1873-1939. 3-1. Allgemeines Statistisches Archiv, Bd.I-55 1890-1967 3-2. Jahrbuch fur Gesetzgebung , Verwaltung und Rechtspflege, Bd.I-4, 1871-1876. 3-3. Schmollers Jahrbuch fur Gesetzgebung , Verwaltung und Volkswirtschaft , Bd.I-68, 1877-1944 3-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Neue Folge), Bd.I-220, 1949-1993. 3-5. Zeischrift fur die gesamte Staatswissenschaft, Bd.I-85 1844- 近現代ドイツの経済、政治、社会、文化を研究するための基礎資料であり、基本的な数量的データを得ることができる。 なお、下記2点が本学特別経費で購入され、所蔵されている。 1. Statistik des Deutschen Reichs (Alte Folge), Bd.I-63, 1873-1883. 2. Statistisches Jahrbuch fur das Deutsche Reich, Bd.I-59, 1880-1941/42.	昭和62年度、 平成2年度及び 平成5年度
◆Le Monde, Dec.1944-Dec.1983 (microfilm)	1944年にパリで創刊された新聞、世界のエリート紙の代表格である。特定の政党や資本に左右されない自主独立の体制、卓越した解説と分析、冷静かつ公平な報道に由来するもので、国際情勢に関してかなりの重点が置かれている。	昭和59年度

文庫名	内 容	設 置 年
◆Landolt-Bornstein Numerical Data [ランドルト・ベルン シュタイン定数表]	本定数表は、素粒子、原子核の分野から原子・分子、結晶などの構造や物性、溶液化学、工業化学、地球鉱物までを含む、科学・技術に関する膨大な実験データ集である。特に既刊行（1994年現在）のうち物性分野は充実している。	本館既蔵書分に 平成7年度補強
◆欧米比較政治学 基本資料集成	1. American Journal of Political Science.Vols. 1-39 (1957-1995) 2. Comparative Political Studies. (C.P.S)Vols. 1-29 (1968/69-1996) 3. Comparative Politics. Vols. 1-29 (1968/69-1996/97) 4. European Journal of Political Research.Vols. 1-28 (1973-1995) 5. Journal of Public Policy. Vols. 1-12 (1981-1992) 6. Journal of Politics. Vols. 1-58 (1939-1996) 7. World Politics. Vols. 1-49 (1948/49-1995/96) 今日では古典となりつつある比較政治学上の画期的で重要な論文・寄稿・記事等を所収した主要誌を体系的に蒐集・集成したものである。	平成11年度

2. 特殊コレクション

文庫名	内 容	設 置 年
◆河井文庫 明治、大正期の 新聞コレクション	自由民権期では、「静岡新聞」「静岡大務新聞」が断片的に収蔵されているほか、東京の「朝野新聞」がかなりある。明治後期の「静岡新報」、明治後期から大正末期までの「静岡民友新聞」がこの文庫の圧巻である。さらに同じ時期の「報知新聞」「東京朝日新聞」「万朝報」「東京日々新聞」等の静岡版を有している。これらの新聞は地域研究には不可欠な資料である。「静岡民友新聞」と「静岡新報」はマイクロフィルム版を作成。冊子目録「河井家寄贈新聞目録」を作成。	掛川の河井家当 主重友氏のご好 意により1957年 に当館に寄贈

3. その他の主要コレクション

◆鈴木安蔵氏資料

[本学文理学部長を務めた憲法学者鈴木安蔵のスクラップブックなど]

◆United States decennial census publications、1790-1970 (microfilm)

[アメリカ国税調査報告書 第1～19回]

◆All U.S. Department of Agriculture publications (microfiche)

[アメリカ農務省全出版物]

◆Social and economic development plans、except for Africa (microfiche)

[世界各国の社会経済開発計画資料集]

◆Aetas Kantiana (reprint ed.)

[カント時代哲学書復刻シリーズ]



資料統計

1. 受入数

平成26年度（平成27年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	8,357	861	9,218	10,970	1,385	233	1,618	1,820
浜松分館	3,352	253	3,605	4,574	346	47	393	442
合計	11,709	1,114	12,823	15,544	1,731	280	2,011	2,262

2. 蔵書数

平成26年度（平成27年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	655,196	251,380	906,576	924,981	11,543	4,631	16,174	15,776
浜松分館	190,057	97,841	287,898	283,402	2,191	1,870	4,061	3,998
合計	845,253	349,221	1,194,474	1,208,383	13,734	6,501	20,235	19,774

3. 視聴覚資料数

平成26年度（平成27年3月31日現在）

区分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本館	4,187	6,287	962	406	406	763	234	13,245	13,138
浜松分館	200	0	442	138	175	680	24	1,659	1,631
合計	4,387	6,287	1,404	544	581	1,443	258	14,904	14,769

4. 分類別蔵書冊数

平成26年度（平成27年3月31日現在）

区分	本館			浜松分館			合計	前年度計
	和書	洋書	計	和書	洋書	計		
0 総記	53,063	9,099	62,162	13,969	4,186	18,155	80,317	79,334
1 哲学	36,158	20,090	56,248	9,913	1,078	10,991	67,239	68,075
2 歴史	80,841	12,737	93,578	8,326	569	8,895	102,473	102,450
3 社会科学	210,265	72,661	282,926	24,561	797	25,358	308,284	315,717
4 自然科学	75,828	60,613	136,441	49,876	52,379	102,255	238,696	242,721
5 技術	34,135	5,192	39,327	55,415	30,857	86,272	125,599	125,276
6 産業	42,195	8,022	50,217	2,605	154	2,759	52,976	54,660
7 芸術	28,103	4,544	32,647	5,571	410	5,981	38,628	38,183
8 語学	24,481	15,744	40,225	8,583	3,747	12,330	52,555	54,077
9 文学	70,127	42,678	112,805	11,238	3,664	14,902	127,707	127,890
合計	655,196	251,380	906,576	190,057	97,841	287,898	1,194,474	1,208,383

5. 図書館経費

- ◇平成26年度 運営関係経費 75,880千円（前年度 78,287千円）
- ◇平成26年度 図書館備付資料費 149,608千円（前年度 146,248千円）
- ◇平成26年度 その他の経費 65,599千円（前年度 11,995千円）



学術リポジトリ

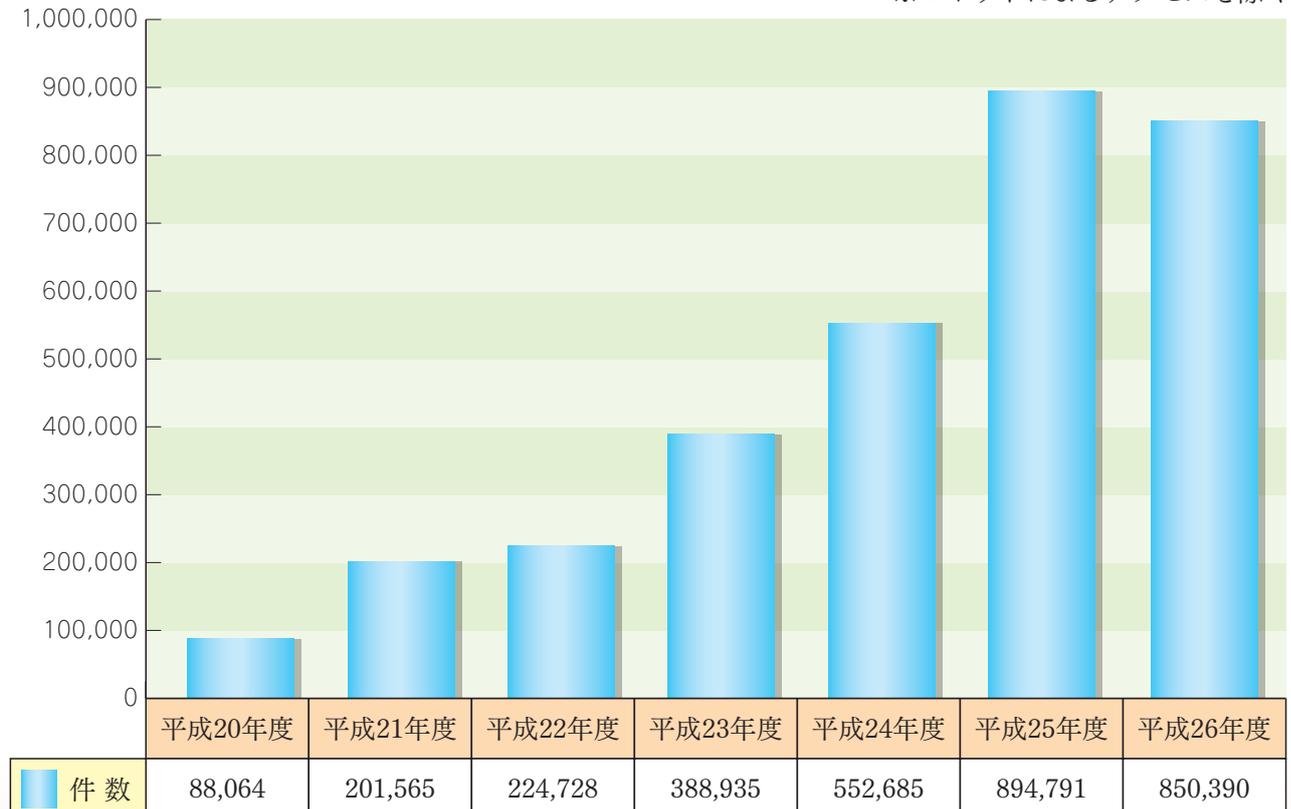
1. 資源タイプ別コンテンツ数

(平成27年3月31日現在)

区 分	日本語	外国語	計	前年度末計
Journal Article (学術雑誌論文)	1,303	999	2,302	2,186
Thesis or Dissertation (学位論文)	331	105	436	384
Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	3,085	146	3,231	2,982
Conference Paper (会議発表論文)	6	5	11	11
Presentation (会議発表用資料)	1	0	1	1
Book (図書)	43	14	57	46
Technical Report (テクニカルレポート)	171	0	171	157
Research Paper (研究報告書)	581	7	588	587
Article (一般雑誌記事)	34	0	34	34
Preprint (プレプリント)	0	1	1	1
Learning Material (教材)	7	2	9	8
Data or Dataset (データ・データベース)	0	0	0	0
Software (ソフトウェア)	0	0	0	0
Others (その他)	343	61	404	404
合 計	5,905	1,340	7,245	6,801

2. ダウンロード件数

※ロボットによるアクセスを除く





利用統計

1. 開館日数等

(平成26年度)

(単位：日)

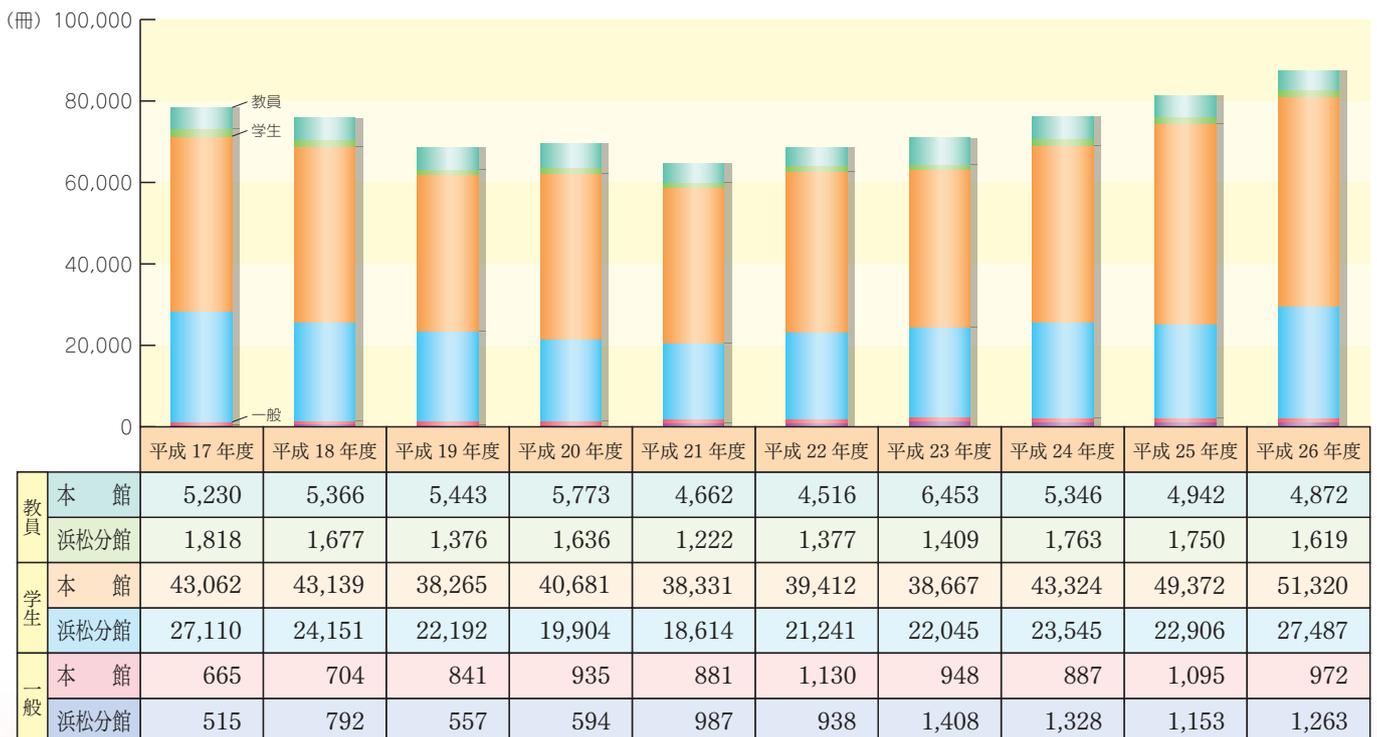
(単位：時間)

区分	年間開館日数			年間時間外開館時間数		
	平日	土/日・祝	総日数	平日	土/日・祝	総時間数
本館	233	105	338	895.5	937	1,832.5
浜松分館	226	104	330	880	928	1,808

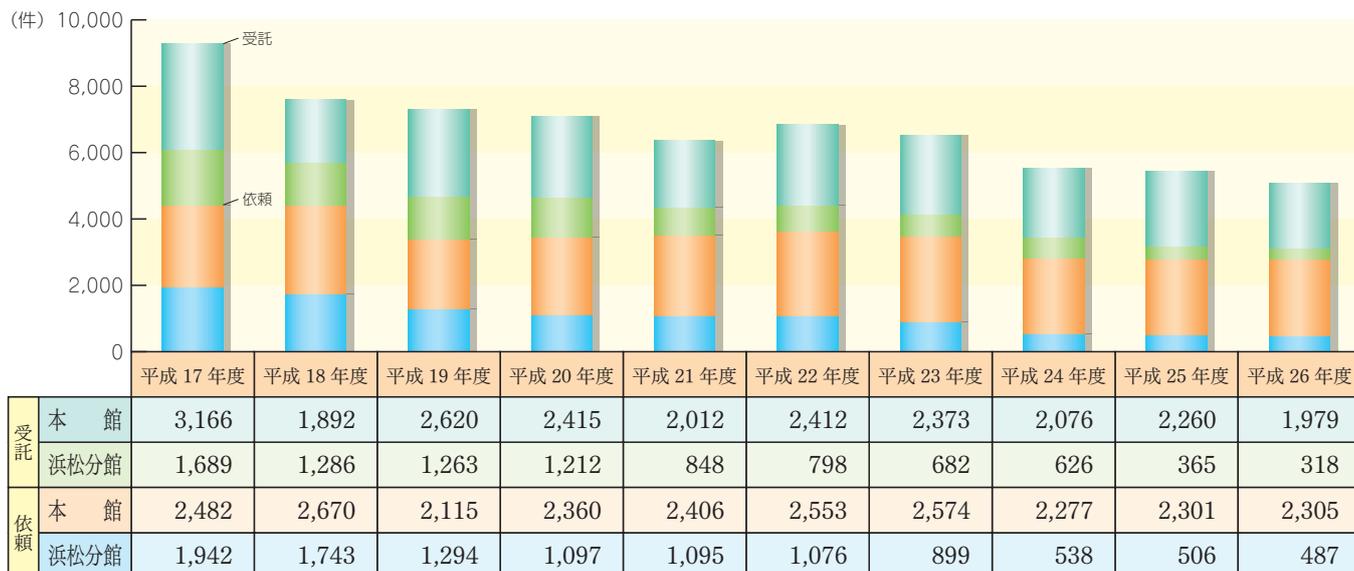
2. 入館者数



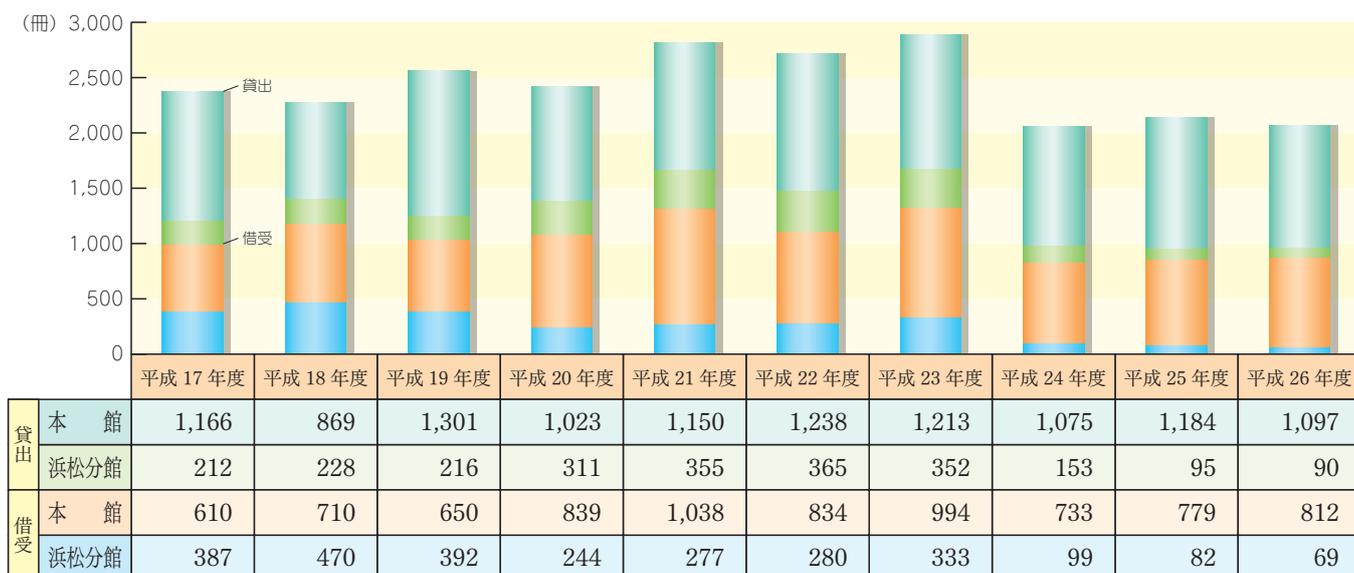
3. 館外貸出冊数



4. ILL（図書館間相互協力）文献複写件数



5. ILL（図書館間相互協力）現物貸借冊数



6. セミナー参加人数

		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		回数	参加人数								
本館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	41	1,265	45	1,249	43	1,195	44	1,219	42	1,245
	図書館利用セミナー（ベーシック編）大学院生向け	2	23	2	25	2	20	4	60	3	49
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	33	636	32	683	33	681	29	611	30	694
	データベース講習会	7	164	6	76	7	104	5	69	4	61
浜松分館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	31	744	14	739	27	741	31	728	13	744
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	2	15	—	—	3	110	1	8	0	0
	データベース講習会	3	49	3	72	4	94	3	62	3	56



刊 行 物 等

1. 冊子体目録 ※Webでも公開しています。

河井家寄贈新聞目録	1975年
宇山文庫目録（英米文学関係資料）	1977年
大場秋雄氏寄贈エスペラント語関係資料目録	1977年
花岡文庫目録（主に民族学関係）	1977年
国際連盟刊行物資料目録 1920年～1946年	1980年
旧制静岡高等学校蔵書と漢書書名リスト	1982年
静岡地方裁判所掛川支部寄贈図書目録（明治期刊行法律書）	1986年
小此本文庫目録（政治史・国際政治関係）	1987年
原家旧蔵江戸後期芸文資料目録	1988年
坂藤英隆氏寄贈目録（中国語刊中国文学）	1988年
黒羽文庫目録（日本近代史関係資料）	1990年
手塚弘保文庫目録（ロシア語による人文科学関係資料）	1993年
河内清文庫目録（フランス自然主義文学関係資料）	1995年
白石信明文庫目録（法律関係専門図書）	1995年
田中敬一文庫寄贈図書目録（フランス文学）	2000年
小澤康彦文庫目録（英文学関係資料）	2001年
五井直弘文庫目録（東洋史関係資料）	2002年

2. 定期刊行物・その他

図書館通信（年刊）	1970年～
利用のてびき（年刊）	1974年～2005年
Library Navigator（りぶ・なび）（年刊）	2006年～
静岡大学附属図書館概要（年刊）	1979年～
としょかんニュース（随時）	1997年～2007年
静大図書館 NewsLetter（随時）	2007年～
附属図書館利用マニュアル（教員用）（年刊）	2002年～

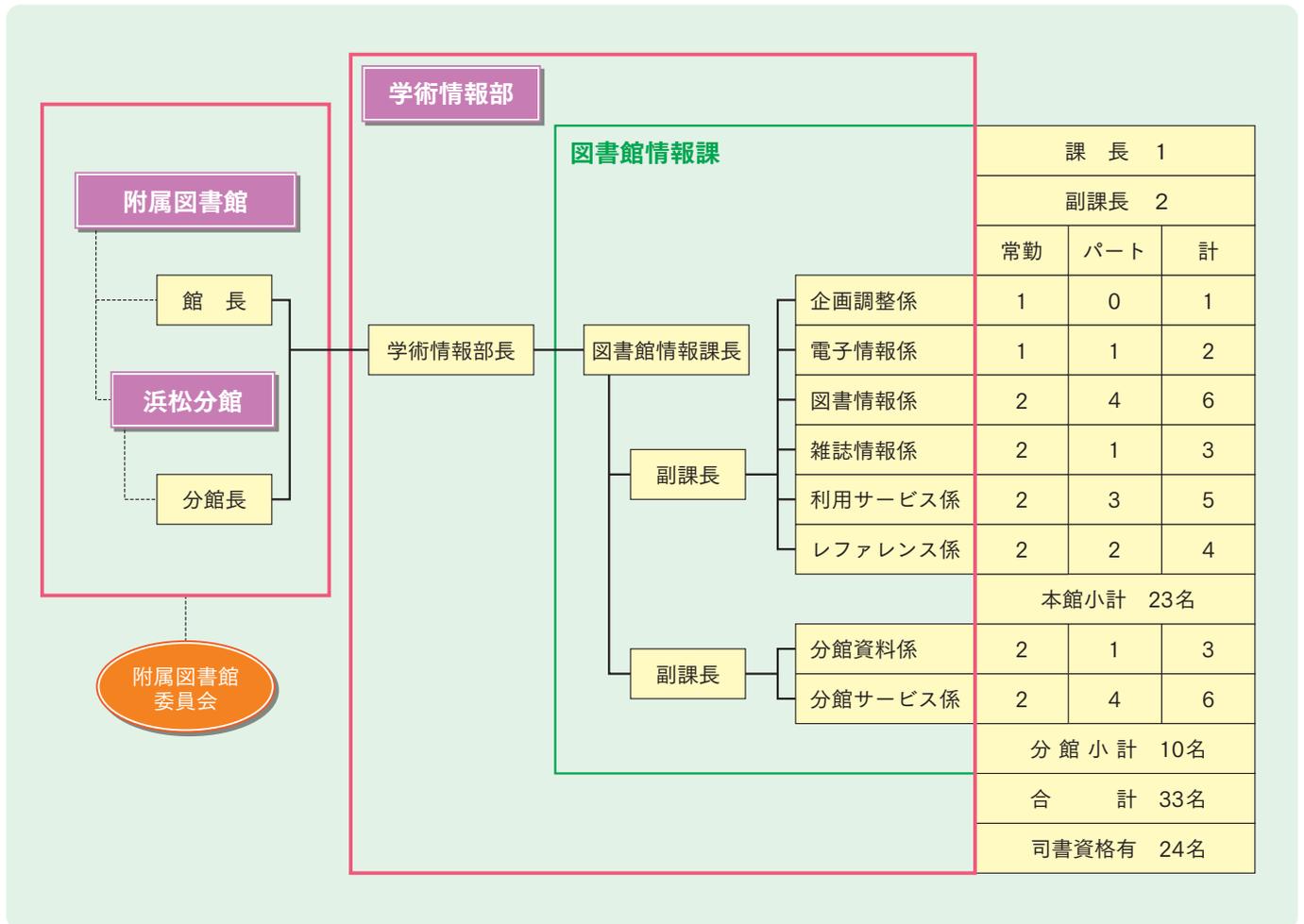
静岡大学附属図書館ホームページ <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>





組織機構

1. 機構図・職員配置 ☆平成27年7月1日現在（実数）



2. 附属図書館委員会委員 ☆平成27年度

所 属	職 名	氏 名	備 考
館 長（農 学 部）	教 授	澤 田 均	委員長 情報基盤センター運営委員会委員
分館長（情報学部）	教 授	高 松 良 幸	
人 文 社 会 科 学 部	教 授	熊 谷 滋 子	
”	准 教 授	李 蓮 花	
教 育 学 部	教 授	鳥 居 肇	
”	講 師	石 川 慶 和	
情 報 学 部	教 授	宮 崎 真	
理 学 部	准 教 授	嘉 規 香 織	
”	准 教 授	木 寄 暁 子	
工 学 部	准 教 授	鳥 居 孝 夫	
農 学 部	准 教 授	足 達 慎 二	広報委員会委員
”	教 授	平 井 浩 文	
法 務 研 究 科	教 授	轟 泰 司	
大 学 教 育 セ ン タ ー	講 師	石 尾 賢 二	
事 務 局	学 術 情 報 部 長	東 雅 彦	



沿革

1. 略年史

年 月	事 項
1949 (昭24) 6	◇静岡大学創立 (文理・教育・工学の3学部)
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文学部図書館長が中央図書館長併任 (中央図書館職員は事務長1、係員2)
1951 (昭26) 4	◇県立農科大学が農学部 (磐田) となり、図書館分室を設ける ◇同上分室建築工事竣工
1952 (昭27) 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1955 (昭30) 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1958 (昭33) 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959 (昭34) 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長1、係長3、係員7となる
1965 (昭40) 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止 ◇教養部西部教場 (浜松) に教養部西部分室を設置 ◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966 (昭41) 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967 (昭42) 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室 (約5,000冊) 開設
1968 (昭43) 3	◇大谷地区に附属図書館の新館 (RC-5 4,535㎡) が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970 (昭45) 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972 (昭47) 3	◇浜松分館の新館 (RC-2 1,471㎡) が竣工
1973 (昭48) 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合 ◇参考調査係を設置し、4係となる
1977 (昭52) 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、2課5係となる
1978 (昭53) 3	◇本館増築 (RC-7 3,061㎡) 竣工
1979 (昭54) 11	◇本館の時間外延長開館 (月～金 20:45、土 16:45まで) を実施
1980 (昭55) 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌 (149タイトル) 本館に集中
1982 (昭57) 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983 (昭58) 3	◇浜松分館増築 (RC-2 1,035㎡) 竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館 (月～金 20:00、土 17:00まで) を実施 ◇浜松地区自然系外国雑誌 (279タイトル) 分館に集中
1984 (昭59) 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工 ◇本館書庫増築 (669㎡) 竣工
1986 (昭61) 11	◇図書館業務用電子計算機 (HITAC L470Xシステム) 導入
1987 (昭62) 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、2課6係となる
1988 (昭63) 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始 (開架全図書及び4月以降の新規受入図書)

年 月	事 項
1990 (平2) 3	◇本館視聴覚コーナー (4階) を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室 (3階) に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991 (平3) 3	◇本館空調設備工事施工 (5階)
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992 (平4) 1	◇本館空調設備工事施工 (3、4階)
5	◇完全週休2日制実施に伴う土曜半日 (午前) 開館
1995 (平7) 5	◇附属図書館のホームページを開設
1996 (平8) 3	◇本館地方資料室を移転し、第2閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設 (1999年迄)
1997 (平9) 10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟 ◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998 (平10) 3	◇CD-ROMサーバ導入 ◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入
7	◇本館第2閲覧室 (ハーベストルーム) にパソコン18台を設置
1998 (平10) 10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課学術情報係をシステム管理係と改称して 情報サービス課に所属
1999 (平11) 1	◇本館書庫入庫時間延長 ◇「幕末・明治期肖像写真展」開催
1999 (平11) 3	◇浜松分館AVルーム開設
5	◇博士学位論文要旨のホームページ公開
9	◇国際放送視聴コーナー開設
11	◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000 (平12) 4	◇本館開館時間変更 (月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00) (試行) ◇浜松分館自動貸出返却装置導入 ◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施 (試行)
2001 (平13) 3	◇本館自動貸出返却装置導入
4	◇本館開館時間変更 (月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00) ◇浜松分館開館時間変更 (月～金 9:00～21:00, 土 9:00～17:00) (試行) ◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施 (試行)
10	◇利用学生モニターの設置
11	◇図書館総合整備計画 (第一次) - 「知と情報のコーディネーター」 へ向けて - の策定
2002 (平14) 2	◇図書館業務用システム (NTTデータ NALIS) 導入
3	◇大学閲覧室の閲覧机・椅子の更新および閲覧室床カーペットの張替え等学習環境の整備
4	◇図書館利用セミナーの実施 (必修科目として正規の単元化)
10	◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施

年 月	事 項
2003 (平15) 2	◇本館正面玄関の改修
4	◇学外者への館外貸出サービスを開始 ◇浜松分館平日夜間開館時間を1時間延長
2004 (平16) 4	◇法人化に伴い、附属図書館事務部は新設の学術情報部として統合 図書館関係2課(情報管理課・情報サービス課)の組織内変更はなし
2005 (平17) 1	◇OBオフィス開設
6	◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催
10	◇課・係制からチーム・スタッフ制へ移行 図書館は図書館情報チームとなり、3スタッフ(図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サービススタッフ)で構成
2006 (平18) 4	◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、図書館は2課長から1課長2副課長となる ◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始
6	◇おうだんくん(県内横断検索システム)へ参加
2007 (平19) 2	◇図書館業務用システム更新
3	◇自動貸出装置増設
8	◇地域目録講習会(図書コース)開催
9	◇電子ジャーナル(Nature・Science)導入 ◇本館第2閲覧室(ハーベストルーム)拡張 ◇「静大図書館 NewsLetter」創刊
11	◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008 (平20) 4	◇静岡大学学術リポジトリ(SURE)本公開 ◇チーム名変更(研究協力・情報図書チームから図書館チームへ)
8	◇附属図書館外部評価委員会開催
2009 (平21) 3	◇浜松分館旧機械室に電動書架設置
4	◇入退館管理システム導入 ◇電子データベース(Web of Science)導入
6	◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010 (平22) 4	◇本館リニューアルオープン
2011 (平23) 7	◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館チームは図書館情報課となり、8係(企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、レファレンス係、分館資料係、分館サービス係)となる。 ◇浜松分館改修工事竣工
2012 (平24) 2	◇図書館業務用システム(NTTデータ NALIS)更新
4	◇本館・浜松分館開館時間の変更(休日の試験対応期間9:00~21:00)(試行)
6	◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結(金沢大学、静岡大学、名古屋大学)
2013 (平25) 3	◇本館外壁改修工事竣工
4	◇静大ID(学認対応)によるサービス開始(学外からの電子ジャーナル利用、MyLibrary)
5	◇附属図書館外部評価委員会開催
2014 (平26) 10	◇浜松分館リニューアルオープン

2. 歴代館長・分館長

附属図書館長	氏名	所属	在任期間
	富田文雄	文理学部	1949.12.12~1952.12.11
	大河室内貞一郎	〃	1952.12.12~1954.12.11
	山田良之助	〃	1954.12.12~1958.12.11
	山岸五平	学長(事務取扱)	1958.12.12~1959.8.31
	島谷俊三	教育学部	1959.9.1~1961.8.31
	宇野慶三郎	〃	1961.9.1~1963.8.31
	内藤晃夫	養学部	1963.9.1~1965.6.30
	兼岩芳夫人	人文学部	1965.7.1~1967.6.30
	天野佳人	人文学部	1967.7.1~1969.6.30
	石塚経雄	人文学部	1969.7.1~1971.6.30
	上野実朗	教養学部	1971.7.1~1973.6.30
	中沢正寿夫	教育学部	1973.7.1~1975.6.30
	渡辺安夫	教養学部	1975.7.1~1977.6.30
	豊川卓爾	人文学部	1977.7.1~1979.6.30
	細井寅三郎	農学部	1979.7.1~1981.6.30
	大中卓郎	工学部	1981.7.1~1983.6.30
	村博保生	教育学部	1983.7.1~1985.6.30
	森口治生夫	人文学部	1985.7.1~1987.6.30
	水野秀夫	農学部	1987.7.1~1989.6.30
	吉本健康	教養学部	1989.7.1~1991.6.30
	小澤康彦	人文学部	1991.7.1~1993.6.30
	久保靖一	工学部	1993.7.1~1995.6.30
	杉田泰一	教育学部	1995.7.1~1997.6.30
	浅井哲一郎	人文学部	1997.7.1~1999.6.30
	大場公雄	農学部	1999.7.1~2001.3.31
	小和田哲男	教育学部	2001.4.1~2003.3.31
	加藤憲二	教養学部	2003.4.1~2005.3.31
	高松良幸	情報学研究科	2005.4.1~2007.3.31
	澤田均	農学領域	2007.4.1~2013.3.31
			2013.4.1~2015.3.31
			2015.4.1~

浜松分館長	氏名	所属	在任期間
	市川常男	工学部	1965.4.1~1976.3.31
	松本欣二	〃(事務取扱)	1976.4.1~1976.4.30
	井本文夫	〃	1976.5.1~1980.3.31
	大月卓郎	〃	1980.4.1~1983.6.30
	藤田郁夫	〃	1983.7.1~1987.6.30
	大田山襄夫	〃	1987.7.1~1989.6.30
	藤田郁夫	〃	1989.7.1~1991.6.30
	清水孝仁	〃	1991.7.1~1995.6.30
	石井仁	〃	1995.7.1~1997.6.30
	渥美邦夫	〃	1997.7.1~1999.3.31
	岡静致	〃	1999.4.1~2001.3.31
	鎌田哲宏	情報学部	2001.4.1~2003.3.31
	市川朗享	工学部	2003.4.1~2004.3.31
	野銅亨	〃	2004.4.1~2005.3.31
	雨宮正彦	情報学部	2005.4.1~2009.3.31
	中島伸治	工学部	2009.4.1~2011.3.31
	高松良幸	情報学部	2011.4.1~2013.3.31
	梅本宏信	工学研究科	2013.4.1~2015.3.31
	高松良幸	情報学領域	2015.4.1~



交通案内・図書館位置図

■ 静岡キャンパス交通案内



1. JR静岡駅北口のしずてつジャストラインバス8番乗り場から【静岡大学行き又は東大谷行き】に乗車し、「静岡大学」又は「静大片山」下車（所要時間約25分）
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

■ 静岡キャンパス校内マップ



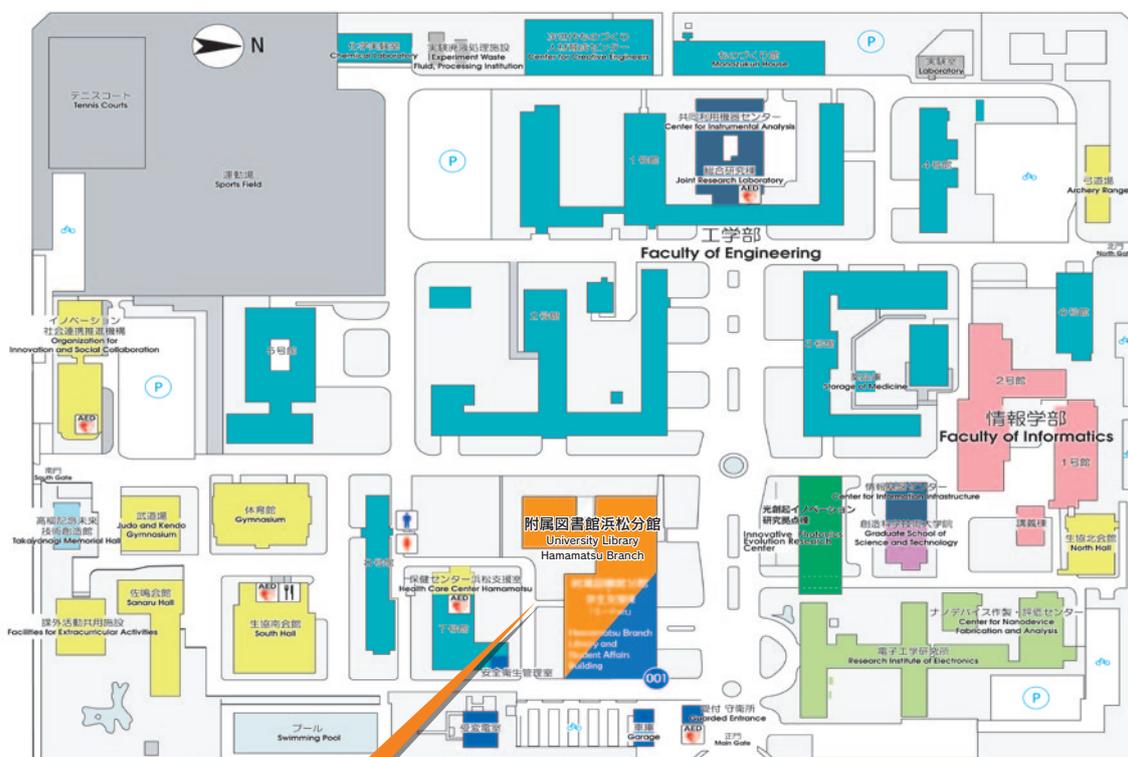
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
 TEL : 054-238-4474 FAX : 054-238-5408
 E-mail : olibrary@ipc.shizuoka.ac.jp

■ 浜松キャンパス交通案内



1. JR浜松駅北口バスターミナルの遠州鉄道バス15番又は16番乗り場から乗車し、「静岡大学」下車（所要時間約20分）
2. JR浜松駅からタクシーで約10分

■ 浜松キャンパス校内マップ



浜松分館

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5-1
 TEL : 053-478-1391 FAX : 053-478-1392
 E-mail : ohlib@ipc.shizuoka.ac.jp

新しい浜松分館が目指すこと

附属図書館浜松分館長
高松 良幸



附属図書館浜松分館は、昨年9月30日にリニューアルオープンしました。大規模なラーニングコモンズスペースやギャラリー等の設置、書庫の大幅拡充などにより、浜松キャンパスにおける情報学部や教養課程の設置以降、10年以上にわたる課題であった浜松分館の充実が大きく進展しました。この概要の分館のページも、面目を一新することになります。

今般のリニューアルオープンに際しては、昨今の国立大学が置かれている厳しい大学財政の状況に鑑み、静岡大学未来創成基金に附属図書館浜松分館整備特定基金を設け、学内外の皆さま方から館内整備のためのご寄付をお願いいたしました。ただ、この寄付募集に際しては、附属図書館が本学関係者だけではなく、地域社会、産業界などの学外の皆さま方にも気軽に利用いただける施設であることを、あわせて広報させていただきました。

浜松キャンパスにある工学部は、前身の浜松高等工業学校・浜松工業専門学校時代から、地元の産業界への知識提供、技術協力などに積極的に関わってきた伝統があり、それが浜松の産業発展の一因となったと評価されています。新しい浜松分館は、地方におけるイノベーションの種となる最新の知的資源、技術情報等を地域や産業界の皆さま方へ提供するとともに、地域や産業界の人々と大学の教職員、学生等の交流、研鑽の場を提供していくことが、このような伝統を継承、発展させていくことに繋がると考えています。そのためには、学外の皆さま方に、より一層附属図書館へと足を運んで頂けるような図書館整備を行っていく必要があります。

この特定基金に対しましては、1年余の募集期間に900万円弱という多額のご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げますとともに、本学ならびに浜松分館へのご期待と受け止め、今後の図書館整備に有効に使わせて頂く所存です。

最後に個人的な事柄ではありますが、私は2年間の附属図書館長の任期をこの3月に終え、4月から3年ぶりに浜松分館長に再任されました。前回の分館長の任期の最後に分館改修が決定、完成した直後に再任という経緯もありますので、新しい分館の活用には一層尽力したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。



静岡大学附属図書館概要 2015

平成27年7月発行

編集・発行 静岡大学附属図書館

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

Tel : 054-238-4474

Fax : 054-238-5408

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>